



WRO Japan 2024 公認 福岡予選会

ミドル競技大会 大会詳細資料

～ オンライン開催 ～

更新履歴	
2024/10/08	ミドル競技大会概要資料_ver.1.0.0

開催情報

- 日時: 11月10日(日)
- 場所: オンライン(Google Meetを予定)
(URL等の詳細については、後ほどメールにてお知らせ予定)
- 大会HP
<https://fukuokarc.org/wro/wro2024mid/>

予選会概要

※福岡予選会では、WRO2024Japan決勝大会レギュラーカテゴリー (シニア部門 ミドル競技)共通ルールを遵守する。

下記に掲載されていない場合においてもWRO2024Japanの共通ルールを適用する。

WRO2024Japan公式HP: <https://www.wroj.org/action/2024>

1. 競技
 - 1.1. 当日は、競技を2回リアルタイムで実施する。
 - 1.2. 当日、ネットの不調により中断された際のために大会当日まで指定したコースを走行した動画を投稿して頂く。こちらは参考動画として活用する。
2. 車検について
 - 2.1. 車検に関しては、事前に投稿していただいた動画とセットで提出していただく写真で判断する
(撮影方法については、別資料を展開予定。)
 - 2.2. 車検時のプログラムは確認しないが、WRO2024Japan決勝大会レギュラーカテゴリーのプログラム名に遵守すること
 - 2.3. ロボットのサイズは、250mm立法の車検ボックスに入ること。もしくは、事前に配布した車検台とメジャーを利用して250mm以下であること。
3. ロボットのパーツは、LEGO製のブロックとLEGO以外は利用できない。
4. 競技手順
 - 4.1. コート内のオブジェクトの配置に間違いがないかを確認する。
(オブジェクト抽選は、動画投稿期間開始日にHP上に展開予定。)
 - 4.2. 問題ないことが確認されたら、ロボットを配置する。
 - 4.3. チーム、監督・コーチの掛け声でストップウォッチ、ロボットをスタートする。(※実行委員でもストップウォッチを使用して計測いたします。)
 - 4.4. 競技の停止、タイムの停止条件は、WRO2024Japanの共通ルールに遵守する。
 - 4.5. 競技終了後は、チームメンバー、監督・コーチがカメラを使用して我々実行員とともに採点を行う。
5. 全チームの競技終了後、プレゼン審査へと移行する。
6. 順位の設定については、WRO2024Japanの共通ルールに遵守する。
7. 最高順位のチームがWROJapan決勝大会に推薦されるとは限らない。決勝大会に推薦されるチームは予選終了後の閉会式にてWROJapan福岡地区予選会実行委員会より発表される。

上記事項に違反する行為があった場合、失格またはエキシビション扱いとなる場合がある。

プレゼン審査・交流会の開催概要

こちらは、福岡予選会独自の審査とする。

プレゼン概要

約3分間のプレゼンテーションを行う。その後、審査員と2分程度質疑応答を行う。
プレゼン審査には、チームメンバーと審査員以外の参加も可能である。
(発表中回覧者は、カメラOFF、ミュートの状態で参加。)

プレゼン評価方法

事前に公開しているルーブリックの評価項目に基づき評価する。審査員は各項目10点の合計40点を満点とし点数化する。各審査員の点数は大会終了後に各チームに公開する。

交流会概要

本予選会では、チーム間での交流を行うことで同世代の繋がりを増やし、お互いに技術を共有しあうことで予選全体でのレベルアップを目指す。またコーチの方々もコーチとしてのノウハウやチームビルディングのために行っている取り組みなどについて共有していただきたいと考えている。

そこで本予選会では、競技参加チームに、スライドを使用し自チームのロボットやプログラムについて紹介をして頂き、他のチームがどのような方針で開発を進めてきたのかなどの情報を共有する交流会を実施する。

交流会の流れについて

講習会はロボット競技、プレゼンが全て終了した後に実施する。
オンライン環境上でミーティングルームをいくつかに分けて自由な交流をしていただいて問題ない。

その他

選手の皆様には大会前に自チームのプレゼン資料はルーブリックを参考に自己評価をすることを推奨する。大会前の自己評価を第三者の評価と比べることで、自チームが優れていた点、改善すべき点を把握し、今後の活動方針に活かして頂きたい。

評価基準項目

評価項目	レベル 1(0~4)	レベル 2(5~6)	レベル 3(7~8)	レベル 4(9~10)
チームワーク	チームワークについて提示していない・情報が不足している。	特定のメンバーから負担が集中しており、チームワークを見受けられない。	メンバーの役割のバランスが取れており、チームで取り組んでいる。	チームとしての取り組み方に独自の工夫がなされており、その成果が発揮されている。
ソフトウェア	ソフトウェア開発における課題が提示されていない。または情報が不足している。	ソフトウェア開発における課題が提示されているが、不適當である。または課題に対しての解決策が不適當。	ソフトウェア開発における課題が提示されており、課題に対しての解決策が適當である。	ソフトウェア開発において、全国・世界大会で通用するレベルの高い課題設定能力と解決能力を有している。
ハードウェア	ハードウェア開発における課題が提示されていない。または情報が不足している。	ハードウェア開発における課題が提示されているが、不適當である。または、課題に対しての解決策が不適當。	ハードウェア開発における課題が提示されており、課題に対しての解決策が適當である。	ハードウェア開発において、全国・世界大会で通用するレベルの大会課題設定能力と解決能力を有している。
ロボット開発能力	ソフトとハードを組み合わせる際の工夫については示されていない。または情報が不足している。	ソフトとハードを組み合わせる上での工夫点については示されているが、不適當である。または工夫が意味をなしていない。	ソフトとハードを組み合わせる上での工夫については示されている。	ソフトとハードを組み合わせる上での工夫について示されており、高い完成度のロボットの開発ができている。

ロボット開発力について

ロボットはソフトとハードをうまく組み合わせる必要があり、どちらかのみ高い技術力があるだけでは「ロボット」としての完成度としては低いと言える。この評価項目は「ロボット」を開発する上での工夫点等を評価する。